

京都芸術教育フォーラム

「芸術教育」と「理科教育」の共通点

京都・滋賀にある5つの芸術系大学と京都市・京都市教育委員会、京都市立小中学校の図画工作・美術教育研究会で組織する京都芸術教育コンソーシアム通称 Art-e Kyoto (アルテ京都) では、大学と小中学校が連携した京都ならではの芸術教育の推進や、芸術を大切にする風土づくりに向けた取組を展開しています。変化の激しい社会だからこそ、芸術教育に何が求められているのか。理科教育との対比など、様々な視点で提言します。

日時

1 / 25 (土)
14:00開会
(開場: 13:30)

会場

京都大学 湯川記念館
パナソニック国際交流ホール
(京都市左京区吉田: 京都大学北部構内)

第1部
基調講演

「芸術教育に求められるもの」

～芸術教育に期待されている力とは～

大野 照文 氏 (京都大学総合博物館 館長)

プロフィール

1951年京都生まれ、化石の研究がたくくて京都大学理学部入学。博士課程でドイツのボン大学に留学、学位取得。京都大学理学部助手・助教授を経て、1997年より京都大学総合博物館教授。現在館長。二枚貝の古生態や、多細胞動物の起源に興味を持って調べている。子どもたちの心の好奇心スイッチを入れるため、オリジナル教材を作って学校訪問したり、研究者・学生・教育関係者のネットワークづくりをお手伝いしたりしている。



第2部
実践報告

Art-e Kyoto の軌跡 ～小中学生の学び・大学生の学び～

Art-e Kyoto の繋がりから生まれた大学生と小中学生の学びの交流。大学と小中学校が連携した取組で、何ができてきたのか。取組事例を紹介するとともに、連携授業に参加した小学生・中学生の感想や、大学生の声を聞きながら、これからの芸術教育について、議論していきます。

講評
提言

大野 照文 氏
福 のり子 氏 (京都造形芸術大学教授)



共催：京都大学研究強化促進事業 学際・国際・人際融合事業「知の越境」融合チーム
研究プログラム：「統合創造学の創成ー市民とともに京都からの発信ー」プロジェクト
(総括代表者：村瀬雅俊 京都大学・基礎物理学研究所)

ー京都芸術教育コンソーシアム (Art-e Kyoto) ー

- ◆会長：建畠 哲 (京都市立芸術大学 学長)
- ◆構成：京都嵯峨芸術大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、成安造形大学
京都市、京都市教育委員会、京都市図画工作教育研究会、京都市立中学校教育研究会美術部会
- ◆お問合せ：京都芸術教育コンソーシアム事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 (京都市教育委員会 学校指導課内)
TEL: 075-222-3851 / FAX: 075-231-3117